



## ◆3月のCP市場動向

3月末のCP市場残高は19兆7,858億円となり、前月比6兆5,067億円の大幅な減少であった。前年同月比では1,083億円の増加となった。発行市場は、月前半は足許の原材料価格の高騰等、コスト上昇を背景とした運転資金確保のための積極的なCP発行の動きが見られた。下旬から月末にかけては例年同様、期末の有利子負債圧縮により大幅に残高が減少する展開となった。業種別残高では、一般事業法人が6兆6,318億円（前月比△5兆705億円）、その他金融が9兆546億円（同△1兆9,070億円）とそれぞれ減少した。一方、金融機関は2兆5,287億円（同+3,872億円）、ABCPが1兆5,707億円（同+836億円）とそれぞれ増加した。発行レートは、発行頻度や希少性、期間等により幅広いレンジでの出合いが見られた。また、本年3月末をもって新型コロナ対応金融支援特別オペの大企業向け民間債務担保分が予定通り終了することから、担保確保目的の応札が徐々に消極的になり、浅いマイナスから0%近辺での出合いが見られた。

## 【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄（A-1+格）0.000%割れ 一般事業法人（A-1格）0.000%割れ  
 その他金融銘柄（A-1格）0.000%割れ

## 【業態別残高内訳】

(単位：億円)

業 態	3月末残高	2月末残高	増 減
一般事業法人	66,318	117,023	-50,705
その他金融	90,546	109,616	-19,070
金融機関	25,287	21,415	3,872
政府系金融	0	0	0
銀行等	5,399	2,519	2,880
証券	19,888	18,896	992
ABCP	15,707	14,871	836
計	197,858	262,925	-65,067

(注：買入消却分含む)

## 【格付け別の発行レート】

格 付	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月
a-1+（一般事業法人）	-0.008% ～ 0.000%	—— ～ 0.000%	-0.005% ～ 0.000%
a-1（一般事業法人）	-0.080% ～ 0.000%	-0.050% ～ 0.000%	-0.040% ～ 0.030%
a-1+（リース銘柄）	—— ～ ——	—— ～ ——	—— ～ 0.015%
a-1（リース銘柄）	-0.008% ～ 0.017%	—— ～ ——	-0.001% ～ 0.020%
a-2	0.003% ～ 0.200%	—— ～ ——	-0.010% ～ 0.250%

#### 「CP 等買入れオペ」

CP 等買入れオペは、当初予定通り 2 回の合計 1 兆円で実施された。11 日オファー分の結果は、応札額 1 兆 2,943 億円、按分レート $\Delta$ 0.030%（平均レート $\Delta$ 0.027%）、28 日オファー分は、応札額 1 兆 2,287 億円、按分レート $\Delta$ 0.013%（同 $\Delta$ 0.010%）と按分レートは各回とも前回比で上昇している。応札額が 1 兆円を超えたのは 2021 年 5 月 14 日以来であり、ディーラーの買入れオペへの売却ニーズが強く現れた結果となった。

〈月末オペ残高：2兆5,143億円〉

#### 【CP 等買入れオペ実績】

（単位：億円）

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
3月11日	3月16日	5,000	12,943	4,998	-0.030%	-0.027%	80.3%
3月28日	3月31日	5,000	12,287	4,995	-0.013%	-0.010%	42.5%

#### 「ABCP」

ABCPは、1兆5,707億円と前月比836億円の増加、前年同月比では2,067億円の減少であった。

#### 「短期社債登録状況」

証券保管振替機構によると、3月末時点における発行登録企業数は変わらず、545社であった。

#### 「CP現先市場」

現先（S/N）レートは運用ニーズ変わらず、マイナス～0%近辺での出会いとなっていた。

#### ◆4月のCP市場動向

4月のCP発行市場は、決算期末に有利子負債の削減を行った事業法人の発行再開により、月間の償還額を上回る発行が見込まれる。月末の発行残高は、原材料価格の高騰等、コスト上昇を背景とした手元資金確保の動きが根強いことから、前月末を上回る水準での推移を予想する。発行レートは、新型コロナウイルス感染症対応金融支援特別オペの大企業向け民間債務担保分が終了したことから、投資家の担保目的でのCP保有ニーズが減退し、レート水準が調整され、浅いマイナスから0%近辺での出会いとなることを予想する。

#### 「CP 等買入れオペ」

CP等買入れオペは、8日と25日でそれぞれ4,000億円、合計8,000億円（前月比 $\Delta$ 2,000億円）のオファー予定となっている。オファー額の減少に伴い、按分レートは前回比若干の上昇を予想する。なお、2022年4月から9月までの間、CP等買入における一発行体当りの買入残高の上限について、買入残高の上限を 1,000億円、総発行残高に占める買入残高の割合を50%とする運営が開始されている。

#### 「CP 現先市場」

CP 現先レートは、0%近辺での出会いを予想する。

\* 参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【3月末発行残高 上位 10 社】

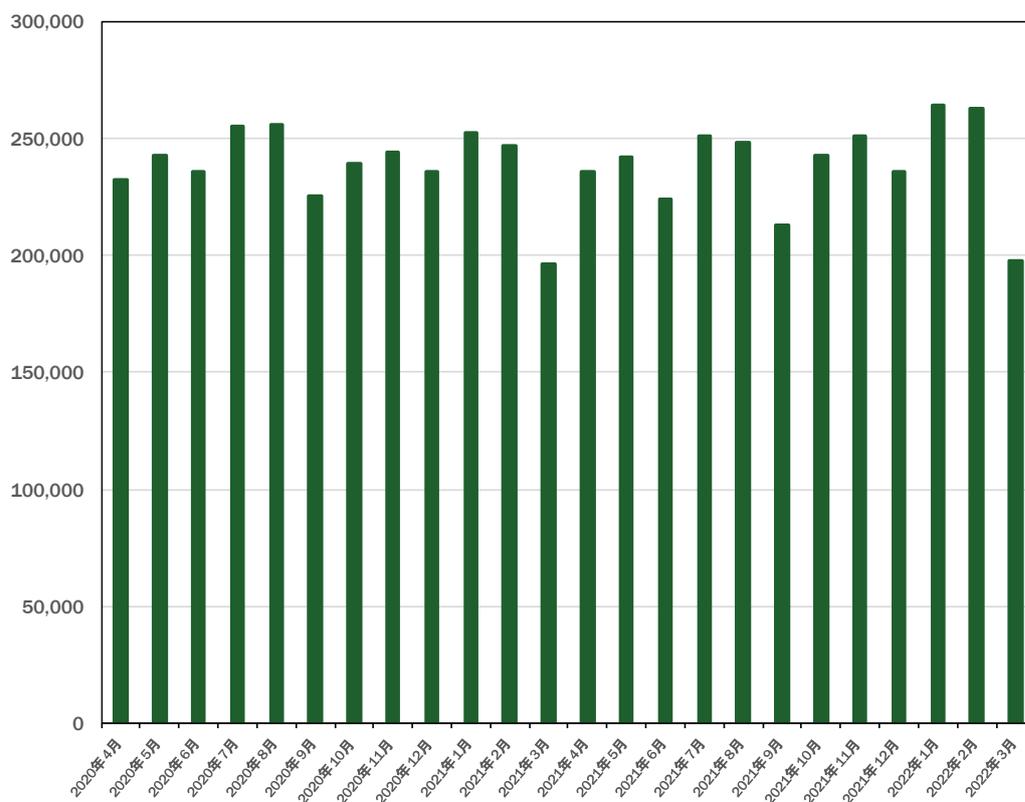
(単位：億円)

	発行企業名	3月末残高	2月末残高
1	三井住友ファイナンス&リース株式会社	9,597	9,037
2	NTT・TCリース株式会社	7,560	7,090
3	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	6,278	7,095
4	三菱HCキャピタル株式会社	5,700	5,197
5	みずほリース株式会社	5,640	5,805
6	日本証券金融株式会社	4,960	5,244
7	みずほ証券株式会社	4,905	4,905
8	株式会社クレディセゾン	4,660	5,730
9	三菱UFJ証券ホールディングス株式会社	4,240	4,240
10	株式会社ジャックス	4,235	4,265

【短期社債市場残高】

(2020年4月～2022年3月)

(単位：億円)



---

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

#### **上田八木短資株式会社**

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会